



市議会だより

みやま^んギカイ

No.74 令和7(2025)年8月1日発行 令和7年6月定例会の内容などをお伝えします。



CONTENTS

- P2～3 6月定例会の概要等
- P4～10 一般質問など
- P11～12 委員会の報告
- P13 表紙のひと
- P14 聞かせて!あなたの夢

こどもぎかい体験会に参加した
12名の小学生

こんなことが決まりました

—— 定例第2回市議会で決まったことから主なものを取りあげます。 ——

一般会計

13億8678万1千円を追加し
総額 234億5778万1千円

一般会計補正予算の財源

○使用料及び手数料	90万円
○国庫支出金	1億9370万7千円
○県支出金	250万円
○財産収入	8億8774万9千円
○繰入金	2億1787万9千円
○繰越金	8194万6千円
○諸収入	210万円

特別会計

介護保険事業

347万3千円を追加し
総額51億7366万9千円

◆ 令和7年度 補正予算 ◆

定例第2回市議会では、令和7年度補正予算など議案10件、請願2件、報告6件、同意19件、承認2件、発議3件を審議し、全て可決、同意、承認しました。

会期 6月17日～27日(11日間)

定例第2回市議会

詳しくはこちら↓



一般会計補正予算 歳出の主なもの

予約制乗合タクシー実証実験事業

3006万3千円

令和7年10月から予約制乗合タクシーの実証実験を実施。乗合タクシー3台を運行します。

【乗降地点】市内のどこでも乗降可

【運行日時】月～土曜日(祝日を含む) 8時45分～17時

【利用料金】5km未満300円、5km以上500円

※実証実験期間中はコミュニティバス(8路線)も通常運行します。

緊急通報システム整備事業

2900万円

高田小、桜舞館小の2校に、学校事故発生時の迅速な通報及び教職員の集結、行動体制の構築を図ることができる緊急通報システムを整備します。また、令和8年度の整備に向けて、5小学校(瀬高小・大江小・南小・清水小・水上小)の設計業務を委託するものです。

企業誘致基金積立金

11億445万2千円

産業団地用地売却収入及び企業誘致基金に統合する地域雇用創出推進基金の取崩し分を積み立てるものです。

定額減税補足給付金給付事業

1億7539万2千円

所得税及び個人住民税の定額減税において、令和6年度に給付した定額減税補足給付金（当初調整給付）に不足が生じた方等に対し、不足額給付金を給付するものです。（給付見込約5000人）

※詳細はこちらからご確認ください。↓



条例改正の主なもの

みやま市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定

主な内容として、国民健康保険税の基礎課税額に係る課税限度額を「65万円」から「66万円」に、後期高齢者支援金等課税限度額を「24万円」から「26万円」に改正するものです。

みやま市奨学金条例の一部を改正する条例の制定

奨学金の受給資格を緩和し、制度をより有益なものとするため、規則で定める他の制度の奨学金との重複受給を可能とするよう、条例を改正するものです。

報告

令和6年度の経営状況の報告がありました。

株式会社道の駅みやま

売上金額 約10億7038万円
購入客数 約56万5千人

みやまスマートエネルギー株式会社

売上実績 約20億1046万円
経常利益 約1669万円

請願

知的障害者が安心して暮らせる障害者支援施設等の整備を求める政府意見書の提出についての請願書

地方財政の充実・強化を求める意見書採択に関する請願書

同意

新たな農業委員会委員19名の任命に同意しました。

井上正光・江崎俊浩・岡武道・坂田徹・森勇次郎・上原充・北原喜博
加藤和己・川口広樹・城敬介・山下久弥・江崎淳二・小宮浩二
永江三夫・高尾芳樹・徳永順子・堤和美・松尾京子・比良紗千（敬称略）

※令和7年7月19日で任期満了のため、新たに任命するものです。

任期は令和7年7月20日から令和10年7月19日までとなります。

※すべての議案名と審議結果は、市ホームページをご覧ください。



いずれも全会一致で採択



国へ意見書を提出



一般質問って・・・？
市議会議員が市に対し、市政についての疑問点を質問し答弁を求め、政策的提言等を行うものです。

一般質問

ここが聞きたい！

不登校児童生徒の支援強化を 答弁／多様な学びの場を推 進していく



諸富正也 議員



問 新型コロナウイルス感染症

による長期の休校や学校行事の変容など、児童生徒を取り巻く環境の変化によって、全国的にも不登校児童生徒の急増が問題視されているが、本市の現状は。

答 令和4年度から令和6年度の間に、不登校者数が1.2倍と増加しており、全国と同じように増加傾向にある。

問 不登校児童生徒の個々の実態に応じた支援体制を整える必要があると考えるが、本市の取り組み状況は。

答 教室に入りづらい児童生徒が、安心して学べるように、空き教室や保健室等を活用し、学習面や心理的なサポートをしている。

「適応指導教室さくら」では、適応教室指導員及び教職経験者、スクールソーシャルワーカー等の専門スタッフが常駐して、登校復帰

を目指し、児童生徒の学習支援や心理的なサポートにあたっている。

1人1台のタブレットを活用し、授業の様子をオンラインで配信したり、学習内容が分かるように授業後の板書を写真で送ったり、ドリル学習を行うなど、児童生徒のニーズに合わせた支援を行っている。

個々の実態に応じた支援のさらなる充実を図っていく。



急増する不登校児童生徒

子ども達が躍動するみやま市へ

答弁／同感だ。親も元気になる



瀨口 健 議員



問 他市の中学校選択の理由に部活動の在り方がある。少人数

のため、部に活力が無く、目標や夢を持ってない子が多い。合同等で部を再編し、更に上位を目指す体制を築けば、部活動は活性化し夢追う姿が見られるが。

答 合同や拠点校部活動を立ち上げている。

問 文科省は部活動の地域移行

終了を6年後としている。移行には本人の意識改革が重要だ。早く向上心のある部活動へ取り組み、意識改革を図れ。山門高校は活動的で存在感がある。だが入学志願者が減少。ワンヘルスへの取組等本市への貢献度は高く、市唯一の高校である。中学生がこぞって志願する高校となるよう支援体制を。

答 連携により高校の良さが広がっている。今後、市全体で取組む。

問 高校には「市とつながり、市と共に成長する」とある。この

気持ちに市は応えられているか。

答 山門高校生も、みやま市の子どもとして宝として大事に連携する。

問 中高生が本気で夢を追

羽ばたき、躍動する。こんな子や孫の姿を見て、誇らしく微笑む親御さん達。このような「躍動するみやま市」を望む。

答 同感だ。

給食死亡事故の提訴を受けて

問 今の心境と今後について、

和解は考えているか。

答 真摯

に対応する。和解については、弁護士と相談する。



少人数の部活動

協力隊の受入態勢の構築を

答弁／総合政策課が調整役となる



中尾 眞智子 議員



問 市は地域おこし協力隊

の「雇用形態の選択肢を増やす要綱改正」を受入れ、幅広い雇用で地域活性化に取組むという。しかし要綱改正で民間が協力隊を雇用できるようにしても、行政の縦割りの発想に縛られ、各課に配属する形では、柔軟な対応はできない。

民間雇用型協力隊の受入れは、縦割りを超えた部署が集約すべきであり、担当は、企画振興課 企画・地方創生係が担うべきでは。

答 委託型（民間雇用型）の契

約は協力隊員の自由度が増し、各事業との連携も容易になると考える。複数部署にわたる雇用の場合は、協力隊制度所管課の総合政策課が調整役となり、横断的な連携が取れるよう進めていく。

問 民間は協力隊を雇用して

営利事業をすることになるが、協

力隊の経費や人件費は総務省の100%の予算とはいえ、すべて税金である。そこで、市への貢献を義務とし、その貢献度は広く市民に公開して報告する事を条件としてどうか。

答 当然、企業の営利だけでなく、市への貢献、地域活性化に繋がるかなど要綱や契約の段階で明記が必要と考える。貢献度を図る手法も、先進自治体を参考に検討する。



協力隊主催のまちおこし会議

移住・定住・企業誘致の促進を

答弁／選ばれるまちとなるよう取り組む



河野一仁 議員



問 若者への定住支援について伺う。

答 公共交通機関を利用し、市外へ通勤する若者を対象とした「若者移住・定住通勤定期利用支援金」や、中小企業や第1次産業に就職し、奨学金の返済を行っている若者を対象に「奨学金返済支援補助」などで支援している。

問 新生活を始める人への支援について伺う。

答 結婚をされ新たに本市で生活を始める方に、結婚を機に要した住居関係費用を最大60万円補助する「結婚新生活支援」や、家賃を最大24万円補助する「新婚世帯家賃補助」を行っている。

子育て世帯で本市に移住される方には、住宅の取得費用を最大30万円補助する「マイホーム取得支援」や「子育て世帯家賃補助」などで支援している。

問 商業の活性化、企業誘致の推進は。

答 製造業・運輸業・卸売業・宿泊業などの進出企業に対し、固定資産税の3年間の課税免除、市民を3人以上雇用した場合の雇用奨励金を用意している。

問 市内で新たに起業される方への支援は。

答 「移住定住起業支援補助金」がある。これらの奨励措置を講じながら、企業及び宿泊施設誘致を推進し雇用の創出を図っていく。

ほかに「教育長の教育方針について」を質問しました。



移住・定住ガイドブック

終活を通じた権利擁護支援を 答弁／充実した支援体制の構築に努める



奥蘭由美子 議員



問 みやま市合併直後と比較すると、人口は約1万人減っているのに世帯数は約800世帯増えている。

二人世帯や単身世帯が増える中、終活にまつわる様々な問題に対し、これまでの家族に頼ったあり方では対応しきれなくなっているのでは。

おひとり様の終活支援について、広島県東広島市では、身寄りのない高齢者の「もしも」のときに備え、本人が緊急連絡先や遺言書の保管場所などをあらかじめ市に登録する「終活情報登録事業」を実施している。本市でも導入の検討を。

答 昨年4月に「とびうめネット」登録事業を開始すると共に、本市独自のエンディングノート「私の想いノート」を作成し、配布している。また、本年度新たに「成年後見センター」を設置した。

一層充実した支援体制の構築に努める。

問 親なき後の支援事業について、障がいのある子や、ひきこもりの方のご家族の、複合・複雑化した支援ニーズに対応する包括的な「断らない相談支援」「断らない窓口」の実施を。

答 市民の困りごとに対し、より丁寧な窓口対応と連携の強化に努める。



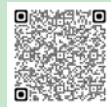
みやま市独自のエンディングノート「私の想いノート」

みやま市の課題確立を

答弁／庁舎内で協議連携していく



前原武美 議員



問 活力あふれるみやま市に、ワンヘルスセンターを活かした具体的な構想が、まだ出ていないが。

答 現在、推進本部でワンヘルスに関連するロードマップを策定中である。

問 企業誘致事業について、経営的節約の努力は行つたのか。

答 今後、民間開発も含め最適な費用で事業を進める。

問 今日、雇用43人で安定した経営のみやまS E（株）を更に成長する優良企業として、民営化を。

地産地消と言われるが、市内電力需給17%、市内電力供給38%と少ない中、議会からも声が出ているので、検討されたい。

答 現時点では考えていない。

問 信頼される行政執行をと議会より再三指摘している大型事業等については、例規で定めて

いるプロジェクトチーム設置をなぜしないのか。

答 今後の行政事務の遂行については、議会からの指摘事項を念頭に置き取り組んでいく。

問 近隣市町村内で、ふるさと納税は残念ながら最下位である。そこで、税額が最大9割軽減される企業版ふるさと納税に知恵を絞り取り組みを。

また、職員がチャレンジ精神を持ち積極的に課題に取り組める職場対応を。

答 市の課題解決に、前例踏襲ではなく、職員の活躍できる職場環境づくりに努める。

また、職員がチャレンジ精神を持ち積極的に課題に取り組める職場対応を。



ワンヘルスセンターを核とした
早急なまちづくりを

瀬高駅周辺の活性化は

答弁／できるものから進めている



吉原政宏 議員



問 昨年からの山門高校生との協働で瀬高駅待合室の改修が進んでいるが、これからも多様な市の政策に山門高校生の意見を取り入れては。

答 今年は高校生の意見を参考に、駅待合室で市及び山門高校のPR動画上映やWiFi整備などを進める。また駅舎や駅前広場の活用についても提案してもらう。

問 駅トイレの改修について、工事計画と高齢者や障がい者に配慮したトイレの設置を伺う。

答 トイレの建物はJR九州から無償譲渡を受け、今年10月から工事を開始し12月末までの完成を目指す。また、トイレ入口の中央にバリアフリートイレを設置する。

問 瀬高駅周辺活性化計画の重点事項である駅舎や駅前広場の整備はこれまで進展が見られない。今後の進め方は。

答 JR九州と自治体、民間団体による駅のにぎわいづくりの事例「エキニコ」を参考に、瀬高駅の遊休スペースである休憩室や会議室の改修を想定している。ここを活かして駅周辺活性化を持続的に取組めるよう、駅周辺のにぎわい創出に意欲を持つ方々と駅舎と駅前広場の整備を具体的に検討していく。



瀬高駅待合室の改修に取り組む山門高校生

障がい者の利用料金減免は

答弁／必要だと思う



古賀義教 議員



問 障がい者がトレーニングルームを利用した場合の料金の減免については、令和6年9月議会の決算と7年度予算の2度にわたり質問してきたが、回答が定かではなかった。

現在の市内在住の障がい者の利用料金は、一般の健常者と同じ250円だが、高齢者は50円になっている。公共料金を設定するうえで、健常者と障がい者が同額というのは少なく、コミュニティバスも障がい者は50円である。

県は、筑後広域公園のトレーニング施設を減免にして、積極的な健康づくりや医療費の適正化を図っている。

障がい者の減免と併せて、スピード感を持った対応ができないか。

答 公共施設全般の減免を協議する中で検討する。

問 障がい者や高齢者の中には、

一人で行けない方、器具を一人で操作できない場合もある。更に施設内での事故の可能性を考えると介助者の付添が必要だ。市長の施政方針の中に「障がい者の環境づくりの推進を図る」とあるが、介助者を付けることが公約を守ることになる。

県の施設や近隣市においても無料・減免となっており、介助者についても減免を考えられないか。

答 必要だと思う。



積極的な健康づくりを

まちの活性化への考えは

答弁／市民・団体と協働して推進していく



三小田智裕 議員



問 交流人口増の目的から関連施設の充実を図るべきであるが、旧本郷小学校跡地の活用について、市場調査を実施したが、その後の経過は。

答 宿泊をとまなう施設にするには財政上困難があり、現在は構想を変えた活用を検討している。

問 大まかな構想で構わないが、どのような活用方針かを説明できないか。

答 現段階ではまだ説明する事はできない。

問 宿泊施設も誘致する必要性がある事は何度も議論してきた。全国展開されているコンテナ型ホテルの誘致は検討すべきであると考えているが。

答 詳細や他地域での事例を調査し、443号線バイパス付近に誘致できないか検討する。

問 活性化には子育て世帯や高齢者が生き生きと暮らせる環境も不可欠だが、市の施策方針は。

答 引き続き各支援制度の充実を図り、活性化を目指す。

問 市民と協働したまちづくりが必要だが。

答 「市民協働まちづくり事業」を実施しており、多岐にわたる活動に対し支援をしており、市民主体のまちづくりを促進している。



跡地活用が検討される旧本郷小学校

第二セクターの民営化を

答弁／現在考えていない



中島一博 議員



問 現在、道の駅みやま、みやまS Eの社長は、市長と同じ校区であり、市役所OBの職員である。公正公平の市政運営に影響を与える天下り人事である。第三セクターの民営化は考えているか。

市長は6日の全員協議会で、道の駅みやまの社長の報酬が安いと言われた。取締役会で協議されるのか。現在、道の駅みやま社長の報酬は456万円、今回、みやまS Eの社長になられた方の報酬は720万円だと思われる。

答 社長人事も、報酬についても取締役会で決議される。現在、第三セクターを民営化する考えはない。

問 学校の安全対策が十分でなかったとして、なぜ児童の父親が提訴をされたのか、給食事故の市の対応について伺う。

答 現在訴状が届いておらず、内容が確認できていないので回答は控える。

塵芥処理費委託について

問 令和6年度ごみ収集運搬委託料の見積りと決算がなぜ同額なのか。収集する場所、件数、運転手等の人数も違うのに、同額にならないと思うが。

答 作業内容・作業日数・作業人員を指定したもので同一の仕様書となり、価格交渉後の見積りによる契約金額と決算は同額である。



新社長が決まったみやまスマートエネルギー(株)

フィルムコミッション設立の推進を

答弁／調査研究が必要



黒田清隆 議員



問 山川町出身の現在36歳の映画監督小田憲おだのりかずさんの作品は、海外の賞を多く得ている。市内で撮影した作品も多い。カンヌ国際映画祭の短編部門に挑戦している。昨年は世界の15作品に残ったが、あと一歩だった。今年も7月のコンペに挑戦されるので、応援したい。世界に挑戦している方が、小・中学校で講演することで、子ども達が夢を持ち、夢を育てるきっかけになるのでは。みやま市ふるさと観光大使にふさわしいと思う。みやま市出身のクリエイターと市のプロモーション施策と連携を図ることは本市の魅力発信・関係人口の創出に繋がるのでは。

答 どのように連携し、どのように地域活性化に繋げるのか調査研究する。

問 人口減少の問題対策として交流人口・関係人口の拡大は重

要。フィルムコミッションの設立は、本市の風景や文化財を映像を通して国内外に発信し、観光振興、経済波及効果、地域の誇りの醸成につなげる役割を担う。作品の中の普通の街の風景を観光客が訪れる聖地巡礼の効果は無視できないのでは。

答 シティプロモーションの推進にプラスになる。設立による効果や課題等調査研究が必要。



ロケーションで市の魅力発信を

「清水山ぼたん園」にもつ
と力を
答弁／魅力を発信し、活性
化に繋げる



森弘子 議員



問 観光の一つ、花の名所である清水山ぼたん園への入り口が、バリアフリーではなく、清水山ぼたん園へ行けない人がいる。解決できないか。

答 清水山ぼたん園の開園期間中に限り、来年度は、清水特産品販売所から清水山ぼたん園入り口までのルートにおいて、自動運転車両の運行を検討したいと考えている。

今後も、清水山ぼたん園の魅力を発信しながら、活性化に繋げる。

ロビーコンサートへ行けない人の対策は

問 みやまつくすのイベントに行かための交通手段がない人を行けるようにするためには。

答 みやまつくすでは、昨年度よりロビーコンサート等、企画運営委員会にて検討した事業を、手探りで進めている。平日の夕方だけでは



清水山ぼたん園への入り口

なく、土曜日などの日中にも開催したいと考えている。開催時間についても、コミュニティバスの運行に配慮した企画を検討する。

議長交際費を公表します

令和6年度に支出した交際費は次のとおりです。

	種別	件数	支出金額(円)	内 容
1	祝金 会費	18	95,600	各種総会等への出席時のお祝い や懇親等を目的とする会合等への 参加費、および要人の要職就 任に対する激励等の費用
2	弔慰金	5	28,850	市政関係者およびその親族に対 する香典等
3	見舞金	0	0	入院見舞金等
4	賛助金	1	10,000	各種団体等の活動趣旨に賛同し 支出する費用
5	接遇費	22	40,294	各種団体等の有識者等と意見交 換や情報収集を目的とした懇談 等の費用
6	掲載料	0	0	市政に有益な記事を掲載する場合 の費用
7	贈呈費	12	66,340	議会および市政の運営等に資す る土産等の費用
	合 計	58	241,084	

議長交際費って？

議会と市政の円滑な運営を目的として、外部との交際に必要な経費を支出しています。

特別表彰を受賞



去る5月20日に開催された第101回全国市議会議長会定期総会において、宮本五市議員、中島一博議員、中尾眞智子議員の3名が、議員20年以上の功績により、特別表彰を受けられました。
市議会では、今回の定例会において、伝達式を行いました。

委員会報告



産業建設常任委員会

〔定例会報告〕

6月23日に委員会を開催しました。

委員会では、付託された議案2件について審査しました。

慎重審査の結果、いずれも原案のとおり可決すべきものと決しました。

議案「みやま市移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について」は、高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律施行令の改正に伴い、条例で引用する条項に条ずれが生じたため、所要の改正を行うものです。

また、「財産の処分について」は、市有地である「みやま柳川インターチェンジ北地区産業団地」を譲渡価格8億8774万8155円にて、ヤマエグループホールディングス株式会社の事業用地として売却するため、財産を処分するものです。



総務常任委員会

〔定例会報告〕

6月24日に委員会を開催しました。

委員会では、付託された議案2件と請願1件について審査しました。

議案「みやま市企業誘致基金条例の一部を改正する条例の制定について」は、企業誘致を推進するにあたり、既存の企業誘致基金と地域雇用創出推進基金を統合するため、条例の一部を改めるものです。

議案「財産の取得について」は、みやま市消防団上庄分団の消防ポンプ車を購入するもので、取得価格は2260万5千円、契約の相手方は「株式会社倉重ポンプ商会」です。

慎重審査の結果、いずれも原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、請願「地方財政の充実・強化を求める意見書採択に関する請願書」を採択すべきものと決し、「地方財政の充実・強化に関する意見書」を本会議で発議することになりました。

また、令和7年度一般会計補正予算の所管分について審査を行いました。

〔行政視察報告〕

5月22日に熊本県荒尾市の「あらお海陽スマートタウン」、及び周辺の視察を行いました。



荒尾市での視察の様子

文教厚生常任委員会

〔定例会報告〕

6月25日に委員会を開催しました。

委員会では、付託された議案3件と請願1件について審査しました。

議案「みやま市奨学金条例の一部を改正する条例の制定について」は、他の制度の奨学金との重複受給を可能とし、受給資格を緩和して制度をより有益にするため改正するものです。

議案「工事請負契約の締結について」は、市立図書館・歴史資料館空調設備の機械改修工事で、設備の老朽化及び環境負荷への対応を行い、業務の安全を図るため、現在の灯油の熱源設備を電力方式に改修するものです。

議案「財産の取得について」は、国のGIGAスクール構想第2期を迎え、小学校学習タブレット機器1743台を一斉に更新します。タブレット端末は、文部科学省の「調達等ガイド

ライン」による、推進協議会の共同調達に参加し、公募型プロポーザルで締結するとしています。

慎重審査の結果、3議案とも原案のとおり可決すべきものと決しました。

請願第1号「知的障害者が安心して暮らせる障害者支援施設等の整備を求める政府意見書の提出についての請願書」も採択すべきものと決し、意見書提出を本会議で発議しました。



表紙のひと

7月6日（日曜日）、初めての「こどもぎかい体験会」を開催。市内の小学校から12名が市議会議員となって、議場で本物の議会さながらの体験をしました。

市議会は、小学生に議会の仕組みや役割を知ってもらい、議会や市のまちづくりに関心を持つ良い機会になればと、初めて企画しました。

議場では、事前に準備したシナリオに沿って、小学生議員と執行部役の議員が質疑や答弁を交わすなど、熱心に取り組んでくれました。

議員全員で意見を出し合う全員協議会では、

こどもぎかい体験会を開催

シナリオにはない子ども議員本人の意見を聞くこともできました。

議会体験は全員が初めての経験で意見を言うのもドキドキしたそうですが、手の挙げ方や立ち居振る舞いなどとても立派で、素晴らしいこどもぎかい体験会でした。ゆくゆくは参加者の中から議員に手を挙げてくれる人も出るかもと楽しみにしています。

この経験を活かし、今後も様々なことに興味を持って、明るい未来に向け、楽しく学んでいただきたいと思います。



発表して緊張したけど、言えたからよかったです。

議員さんは議会でこんなことをして、すごいと思いました。

初めてでドキドキしたけど思ったより簡単にできて、楽しかったです。



こんなふうにして、色々なことを決めていくということが分かりました。貴重な経験でした。

緊張したけど、楽しかったです。知らないことを知れて良かったです。またあったら参加したいです。

僕たちが座ったいすに本当の議員さんが座ると思うと不思議な感じがしました。



聞かせて! あなたの夢



大江小学校 5年

こ が えい た
古賀 瑛大さん

将来の夢

ぼくの将来の夢は、歌手になることです。ぼくは、歌うのが大好きです。歌っていると、心が楽しく、嬉しくなるからです。5年生になって授業で「ビリーブ」を歌いました。みんなの歌声がきれいに響いて、優しい気持ちになり、「やっぱり歌うのって良いな」と思いました。

今は夢を叶えるために、放送委員会でハキハキ話したり、家でギターを練習したりしています。歌手になったら、ペイペイドームでたくさんの人にぼくの歌を聴いてもらいたいです。



みやま市マスコットキャラクター

くっぴー

編集委員
委員長 古賀 義教
副委員長 奥園由美子
委員 諸富 正也
委員 三小田智裕
委員 河野 一仁
委員 中尾眞智子

《次回定例会》
9月2日(火)
からの予定です。



インターネットで
中継・録画を配信
市ホームページ「み
やま市議会」のイ
ンターネット中継」か
らご覧ください。

編集後記

皆様のご協力のもと、2年間の議会報編集特別委員長の役を慣れない中に無事に終えることができました。

市民の皆様が何を知りたいのか、議会としては何を伝えればいいのか、試行錯誤を重ねながら取り組んできました。

ある日、元議員の方から予算審議の賛成・反対討論の内容が理解できないと電話があり、文面で伝えることの難しさを痛感しました。

重要と思われる審議については文字数を増やしても、正確な情報を理解して頂ける文面が必要と思います。

しかし、過去の内容配分などおりの紙面となり、型や枠に囚われない「議会だより」の発行が難しく、必ずしも十分であったとは思っていません。

議会報編集特別委員会としては、興味・関心を持って頂ける「議会だより」、読んで理解してもらえ「議会だより」を目指して参りますので宜しくお願いいたします。

編集委員長 古賀 義教

みやま市ホームページアドレス <https://www.city.miyama.lg.jp/>